

● 世界の主な火山活動

平成 26 年（2014 年）6 月に噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。

シナブン（Sinabung） インドネシア（図中 A） 標高 2,460m

シナブンでは、6 月の期間を通して溶岩ドームの成長と溶岩流が継続した。6 月 29 日には、爆発的噴火が発生し、噴煙が海拔 4 km まで上昇した。また、この噴火に伴い、火砕流が南東に 4.5 km 流れた。

警戒レベル（1～4 の 4 段階の指標）は 4 月 8 日にレベル 4 からレベル 3 に引き下げられて以降、レベル 3 が継続している。約 14,000 人が、2013 年 9 月以降避難し続けている。

ウビナス（Ubinas） ペルー（図中 B） 標高 5,672m

ウビナスでは、6 月の期間を通して噴火が繰り返し発生し、火山周辺の風下側の様々な町で降灰が報告された。6 月 2 日から 3 日にかけての噴火では、噴煙が海拔 6.7～10.7 km の高さまで上昇した。6 月 25 日現在、ウビナス火山から南へ 4 km 及び南南東 7 km に位置する集落の住民は避難し続けている。

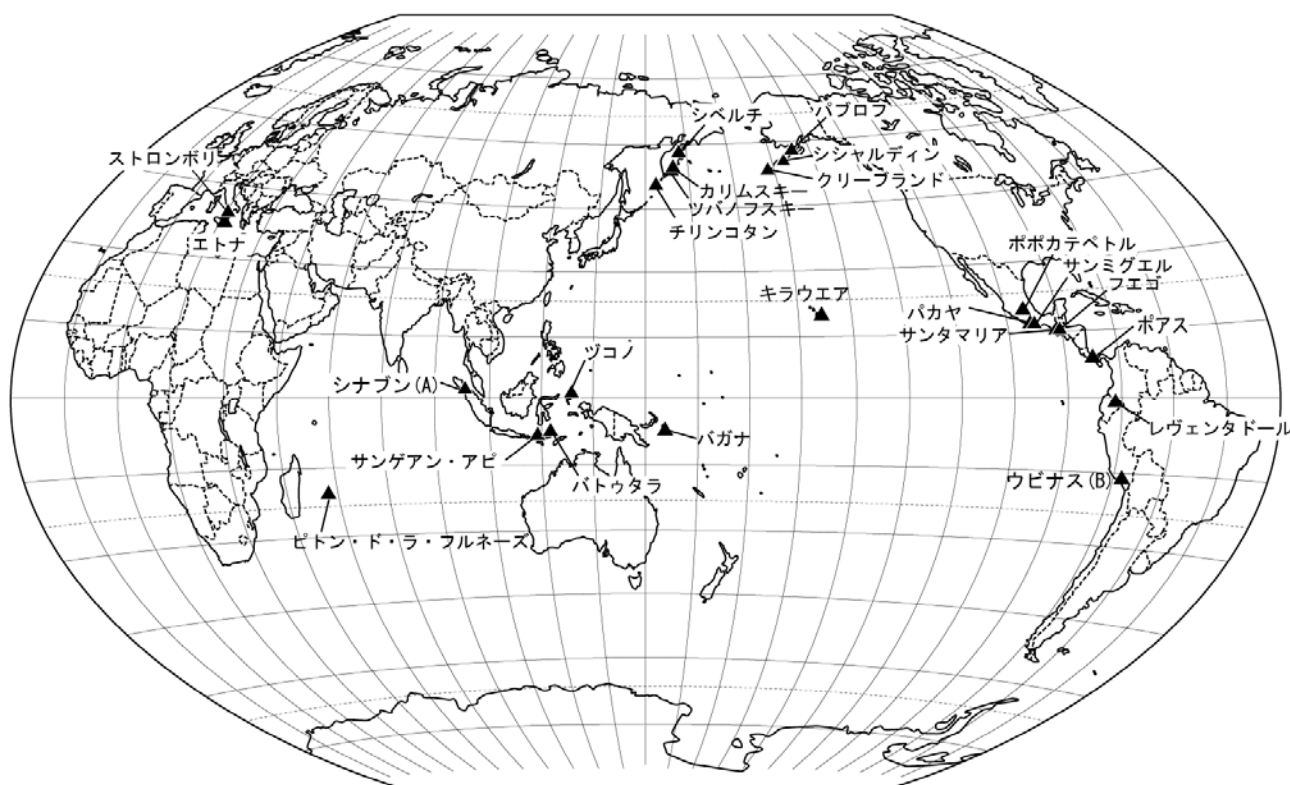


図 平成 26 年（2014 年）6 月に噴火した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。